

情報公開用文書（横浜市立大学で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2025 年 11 月 25 日作成 第 1.0 版

研究課題名	DPC データを用いた、多発肋骨骨折患者さんに生じた急性呼吸不全に対する非侵襲的呼吸療法の診療実態及びその有効性を調査する観察研究
研究の対象	診断群分類に基づく診療報酬算定制度を DPC 制度（DPC：Diagnosis Procedure Combination）と呼びます。本研究は、この DPC 制度から得られた DPC データベースを用います。2022 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日の間に既存試料・情報の提供のみを行う機関において DPC データが登録され、「多発肋骨骨折」で入院し、入院後 2 日以内に非侵襲的呼吸療法※を開始した 18 歳以上 75 歳以下の患者さんを対象とします。 ※非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）、高流量経鼻酸素療法（HFNC）を総称
研究の目的	多発肋骨骨折はよくある外傷でありながら、時に重篤となり、人工呼吸管理を要することがあります。人工呼吸管理を回避するために非侵襲的呼吸療法が行われることがあります。が、どの呼吸療法を選択すべきか明らかではありません。この診療実態を調査し、非侵襲的呼吸療法の有効性を検証することを目的としています。
研究の方法	すでに登録されている DPC データから情報収集を行います。既に診療が終了している情報になりますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2026 年 5 月 11 日（研究機関の長の許可日） ～ 西暦 2027 年 3 月 31 日 情報の利用、提供を開始する予定日：西暦 2026 年 5 月 11 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の項目	DPC データベースから以下の情報を収集します。 ・背景情報：入院時病名、年齢、性別、身長・体重、既往歴 ・治療情報：呼吸療法実施状況、手術情報、各種薬剤情報、入院中処置状況 ・転帰
試料・情報の授受	本研究では、「研究組織」に記載されている「既存試料・情報の提供のみを行う機関」から上記の情報の提供を受けて実施します。 「既存試料・情報の提供のみを行う機関」から提供を受ける際は、情報を USB に保存し、パスワードをかけた状態で追跡可能な方法で郵送されます。 情報は、本学で少なくとも 5 年間保管しますが、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究期間に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。廃棄する際は、情報は復元できない方法で廃棄します。

情報公開用文書（横浜市立大学で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

個人情報の管理	本研究では、研究責任者および研究分担者は、個人情報を特定することが不可能な状態でデータ供与を受けます。「既存試料・情報の提供のみを行う機関」においても、同様に対応表の作成をし、同機関で管理されますので、当院へ個人を特定できる情報が提供されることはありません。
試料・情報の管理について責任を有する者	本学の個人情報の管理責任者は理事長であります。その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学 学術院医学群 データサイエンス研究科 後藤 匡啓
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。本研究の計画・実施・報告において、研究の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反はありません。また、本研究では研究費を要しません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学 データサイエンス研究科 ヘルスデータサイエンス専攻 研究責任者：後藤匡啓 【既存試料・情報の提供のみを行う機関と責任者】 国立大学法人 東京科学大学大学院 医療政策情報学 責任者：伏見清秀
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。本研究では、個人を特定できる情報を含まないかたちで情報の提供を受けます。当院で個人を特定することができないため、研究利用への拒否の連絡をいただいた際対応いたしかねますことをご了承ください。	
問合せ先： 〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2 横浜市立大学 データサイエンス研究科 ヘルスデータサイエンス専攻 （研究責任者）後藤 匡啓 （問い合わせ担当者）前澤 俊憲 電話番号：045-787-2311（代表）	